

「地理総合」	教科	地歴公民	単位数	単位
	学科、学年、組	全科、3学年、1～6組		
使用教科書	「高校生の地理総合」(株式会社帝国書院)			
副教材等	「高校生の地理総合ノート」(株式会社帝国書院) 「CONNECT 地理総合」(第一学習社)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
---------	---

2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。

評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	40%	定期考査
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	30%	定期考査
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。	30%	レポート課題 授業観察

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界	①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。 ②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。
2	2部 国際理解と国際協力	①世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的な見方・考え方を身に付ける。 ②地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。

3	3部 持続可能な地域づくりと私たち	<p>①地球の課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。 地球の課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。</p> <p>②地球の課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>③持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。</p>
---	-------------------	--